

台東区社会福祉事業団 <<処遇改善に関する加算の職場環境>>

台東区社会福祉事業団では、次のような取り組みを行っています。

区分	台東区社会福祉事業団が取り組んでいる具体的な内容
入職促進に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無資格・未経験の方が安心して働けるよう、新人研修(講義・演習・実習)を充実しています。新人職員には3か月ごとにフォローアップ研修を行い、振り返りと新たな知識・技術の習得を行っています。 ・ ケア専門スタッフ、間接業務専門スタッフなど、個々人の働き方に合わせたきめ細やかな勤務形態により、長く働くことのできる職場を目指しています。 ・ 総務課人材チームが採用、人事管理、研修体制構築、各種相談を行い、働きやすい職場環境の整備を担っています。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「資格取得支援制度」が充実しています。介護職員初任者研修、実務者研修をはじめとして、働きながら介護福祉士の取得、介護支援専門員の取得が目指せるよう、受験費用だけでなく、模擬試験、受験対策講座に対する補助制度があります。介護支援専門員更新研修なども対象で、多くの職員が活用しています。 ・ 対象職種や経験ごとに年間で計画を立て、人権研修、コンプライアンス研修、虐待防止研修、感染症予防研修、メンタルヘルス研修、ハラスメント防止研修、スーパービジョン研修等を行い、組織を挙げて職員の資質向上に取り組んでいます。 ・ 新人職員にはチューター制度を取り入れて各自の成長に合わせて指導・育成しています。介護技術の習得は、介護キャリア段位制を活用して、各人の着実な成長を目指しています。 ・ 人事評価制度により、上司との面談のほか、必要時は随時相談を行える体制があり、職員とのコミュニケーションを重視しています。
両立支援・多様な働き方への推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児(介護)休業、育児(介護)短時間勤務制度など、必要時取得できる休暇制度があり、多くの職員が活用しています。 ・ 職員の希望に即して正規職員から非正規職員への転換など、ライフイベントなどに対応して相談できる体制があります。
腰痛を含む心身の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独自の腰痛予防体操を年間通じてオンライン配信しています。 ・ 職員ごとに適した腰痛予防ベルトの提供、リフト等の導入と研修、介護ロボットの使用など、身体の負担軽減のための施策に取り組んでいます。 ・ 健康診断、ストレスチェックを定期的実施、フォロー体制を整えています。
生産性向上のための業務改善の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット端末や Bluetooth 等の ICT の活用やセンサー類の導入により業務の効率化を図っています。 ・ 介護、看護、栄養、相談、それぞれのセクションが共通の記録システムを使うことにより情報の共有がスムーズに行われています。
やりがい・働きがいの醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化や、職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善をはかっています。 ・ 職員表彰制度、実践報告会、研究発表など、職員の日頃の活躍に対して、組織全体で評価する仕組みがあります。